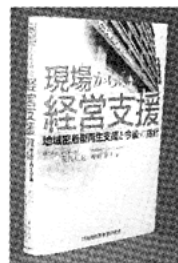


「書架」

『現場からみた経営支援—地域密着型再生支援と今後の指針』

荒波辰也・中村廉平 編



当会刊
A5判308ページ
本体2,800円

すぐに使える商工中金のノウハウ

【評者】 リッキービジネスソリューション代表取締役 **澁谷耕一**

再生支援は峠を越えたといわれる。しかし、地方の中堅・中小企業に目を転じれば、技術をもちながら過剰債務で苦しんでいる企業や地域雇用確保の観点から抜本的な解決が先送りされている企業も少なくない。

商工中金は設立以来七〇年間、全国の中小企業に対して融資と経営アドバイスをを行い、その成長に大きく貢献してきた。大企業向けとはまったく異なる中小企業向け融資市場で、財務内容だけではなく、業務や技術、経営者の手腕や思い入れを含む企業経営の実態を熟知した「長期的・安定的な支援」は、中小企業経営者からも大きな信頼を得ている。また、全国の地域金融機関・中小企業再生支援協議会・地域再生ファンドとの連携による再生支援業務にも熱心

に取り組み、成果をあげている。

本書は、そうした長年にわたり商工中金が培ってきた再生支援・経営支援の豊富なノウハウと先進的な金融手法、具体的実例が凝縮された実務書である。

本書に満載された商工中金のノウハウは、いつでも「現場ですぐに活用できる」点特徴的である。具体的には、まず、経営環境・企業体質・経営者という非財務の視点からの企業の見方が実務に沿ったかたちでわかりやすく解説され、すぐに金融実務で使うことができる。

また、商工中金が取り組んだ再生支援の事例等について、経緯を追いながら詳しい説明がなされている。多くの類似書籍がスキームに焦点をあてるなか、まさに「現場を体感できる」一冊だ。

さらに商工中金が研究し先鞭をつけてきたD D S（デット・デット・スワップ）、償還条件付D E S（デット・エクイティ・スワップ）等の再生手法、そして新たな融資スキームであるA B L（流動資産一体担保型融資）が、条項の解釈に至るまできわめて詳細に解説されている。契約締結、スキーム実行の際にそのまま使えるのも便利だ。加えて、商工中金で実際に使用されている経営改善支援フロー表、検討シート、計画書やD D S契約書等のひな型が掲載されており、実務上の各プロセスの参考になる。巻末には金融・再生に関する一七五用語が詳細に解説された用語集が収録され、至れり尽くせりの構成。再生支援業務の初心者でも、本書を手

もとに携えれば、経営不振企業の支援に邁進することができるとは掛けた。本書を読んで、政府系金融機関である商工中金が、「企業再生への働きかけは日常的な取組み」と認識し、取引先企業からの強い信頼を得て経営改善支援のアドバイスを「行うだけではなく、先進的な金融手法を開発し、地域金融機関にも積極的に足を運んで協調支援の働きかけを行う等の地道な努力をしていること」をあらためて学んだ。

商工中金は民営化という方向性が示されたが、中小企業の成長・発展に尽力するとともに、再生支援におけるリーダーとして豊富な現場経験と専門ノウハウ、熱意意気込みをもって、今後も地域経済の活性化に貢献してほしいと願うものである。